

第 43 回技術士 CPD 講座開催のご案内

(定員オーバーにつき募集停止)

公益社団法人 日本技術士会 茨城県支部
研修委員会 委員長 小林 守

この度、新型コロナウイルス感染防止の緩和により、第 43 回技術士 CPD 講座を下記の日時に開催致しますので、ご参加をお願い致します。

- **日時** : 2020年8月1日(土) 13:00 ~ 17:00
- **場所** : ワークプラザ勝田 2F 研修室2
〒312-00052 ひたちなか市大字東石川 1279 (Tel 029-275-8000)
<http://www.workplaza.or.jp/f500.htm>
- **講演 1** (13:00 ~ 15:00)
 - ・ **演題** : 『リスクマネジメントにおける意思決定の方法論 : 「リスク情報を活用した意思決定 (RIDM : Risk-Informed Decision Making)」』
 - ・ **講師** : HIRAKAWA技術士事務所 代表
技術士(経営工学、原子力・放射線、総合技術監理部門) 平川 博将氏
 - ・ **要旨** : リスクマネジメントの枠組みも最近ではERM(全社リスクマネジメント)やリスクガバナンスに変遷して来ているが、それにおける意思決定の方法論もリスクベースからリスク情報を活用した意思決定(RIDM)に変化して来ている。これらの変遷を概観するとともに、昨今、原子力の分野で注目を浴びているRIDMについて、その問題解決手法と類似した意思決定プロセスの概要を解説し、また、リスク情報を統合する分析の方法論として多基準(多属性)意思決定分析などの事例を紹介する。
- **講演 2** (15:00 ~ 17:00)
 - ・ **演題** : 『社会インフラに関する最近の話題 - 下水道と無電柱化について -』
 - ・ **講師** : 株式会社 協和エクシオ 土木事業本部
技術士(建設、上下水道、総合技術監理部門) 白川 淳一氏
 - ・ **概要** : 2019年の9月、10月に相次いで来襲した台風15号、台風19号による記録的な強風、大雨は、社会インフラに甚大な被害をもたらし、生活や経済に大きな影響を及ぼした。激甚な自然災害の脅威が高まり、改めて社会インフラ整備について議論が高まっている。本講演では、社会インフラの中でも防災上の観点から注目されている下水道及び無電柱化に関して、現状を解説するとともに各種の課題等について紹介する。
- **参加会費** : 技術士会会員、一般 : 1,000 円
技術士会非会員 : 2,000 円
- **参加定員** : 定員 28 名 (MAX54 名) 先着順 ; **募集停止**

- 開催方法 : 対面方式(手指消毒液、非接触型体温計、フェイスシールド;支部準備)
- 参加者持参物 : **マスク(必須)**
- 申込先・申込期限 :
 - 日本技術士会 HP 会員コーナ「CPD 行事等予定欄」より申請。
<https://www.engineer.or.jp/kaiin/dmsw0200.php#month08>
 - FAX にて申請 (茨城県支部 HP より申込用紙をダウンロードして記入)
https://www.engineer.or.jp/c_shibu/ibaraki/
 - 申込期限 : **募集停止**
- お問い合わせ先 : 日本技術士会 茨城県支部 事務局
E-mail : ibaraki@engineer.or.jp
Tel : 029-219-5154
担当 : 小林 (携帯 : 090-3472-1478)

以 上

申込期限：7月27日(月)

茨城県支部 事務局 御中

E-mail : ibaraki@engineer.or.jp

Fax : 029-265-5558

第43回 技術士CPD講座 再参加申込み

日時：2020年8月1日(土) 13:00~17:00

場所：ワークプラザ勝田 2F 研修室2

演題1：『リスクマネジメントにおける意思決定の方法論：

「リスク情報を活用した意思決定 (RIDM: Risk-Informed Decision Making)」』

講師1：HIRAKAWA技術士事務所 代表

技術士（経営工学、原子力・放射線、総合技術監理部門）平川 博將氏

演題2：『社会インフラに関する最近の話題 ー下水道と無電柱化についてー』

講師2：株式会社 協和エクシオ 土木事業本部

技術士（建設、上下水道、総合技術監理部門）白川 淳一氏

● 持参物：マスク（必須）

申込；2020年 月 日

フリカナ		会社又は機関名	
氏名		部署・役職名	
会員の有無*	会員(部門名：)、非会員(部門名：)、一般		
住所			
Tel		FAX	
E-mail			
その他 ご要望等			

① 「会員の有無*」では、いずれかに○印し、技術士の方は、部門名を記入願います。

② 会費は、日本技術士会会員・一般；1,000円、日本技術士会非会員；2,000円になります。

以上